

主な質問と答弁の要旨

黒岩 千泰 議員

Q1 世界の記憶登録と観光政策について

今後の観光対策は？

問 杉原千畝「世界の記憶」の登録がされようとしている。そこで観光客を見込んで大型バスの駐車場と観光協会や商工会などが共同で運営する売店などの建設を行ってはどうかと思うが町の考えを伺う。

答 (藤本産業課長) 大型バスについては、現在若杉前の三角形の駐車スペースに待機させています。ここにはバス5台まで駐車が可能ですが、1日の内で、バス5台が同じ時間に重なることは、今のところありません。バスでお越しの場合はほとんどが予約のため、予約の時点で記念館が時間を調整し、出来るだけバスのお客様が重ならないようにしています。これは、お客様に、ゆっくりと落ち着いて記念館を見学してもらえらるるようにとの配慮もあります。昨年秋には、観光会社によるバスのパッキングツアーが10

0本以上催行され、11月には映画公開直前ということも重なり、9千300人と最大の来場者が訪れました。この時もバスの駐車場に支障はありませんでした。このため、大型バスの駐車場については、対応が可能と考えています。

次に、観光協会と商工会が共同で運営する売店についてですが、まずこのことについて商工会は、採算性が一番課題であるという見解です。費用を投じて効果がどこまで見込むことができるのか判断する必要があるということです。また、観光協会には、現在、第3日曜日や各ウィーク期間に八百津マルシェを開催していますが、今のところ、売店を毎日開店させていくまでは至っていない状況です。こうしたことから、商工会や商店街のみならず、観光協会とも話し合いを深めながら、どういった施設が良いのか、運営方法なども含めて検討していきたいと考えています。

問 杉原千畝氏の戸籍について、出生届が美濃市にて届けられていると報じられている。長年、杉原千畝氏の出生の地は、八百津町であるとアピールして

きたが、町としてどのように認識しているか。今後の活動をしていくにあたり、八百津町の立場をはっきりしておく必要があると思うが町の見解を伺う。

答 (金子町長) 千畝氏については、ご本人直筆の手記や、生前のインタビュー、ご親族の証言など、大きく5つの点から、当町で出生していると考えています。

1点目は、本人直筆の手記における記述です。「世界の記憶」申請記録物となっております千畝氏自筆の手記において自分は、「1900年(明治33年)1月1日、岐阜県加茂郡八百津町の名古屋税務監督局の官吏の家に生まれた。」との記述があります。

2点目は、千畝氏と幸子夫人との生前インタビューです。当町で千畝氏の顕彰が浮上する前に、学習研究社発行の「6年の学習 1985年7月号」の「愛の決断」に、千畝氏と幸子夫人との生前のインタビュー記事が掲載されています。その中で、千畝氏は「岐阜県の八百津という所で生まれたが、父が税務署に勤めていて転勤したため、6年生のときは名古屋市の小学校にいた。」と記述されています。

3点目は、幸子夫人の生前のご発言です。1997年5月4日に行われた幸子夫人の「命のビザ」記念講演において、夫人

は「主人は八百津町で生まれた。生存中に何度も八百津へ訪れた。亡くなる前に八百津へ帰りたいと言っていた。」と話されており、その肉声テープもあります。

4点目は、千畝氏出生時の杉原家の状況についてのご親族の証言です。千畝氏の父、好水氏は当時、武儀郡上有知町の税務職員として勤務していましたが、千畝氏の出生時、既に2歳4カ月の長男がおり、仕事を持つ好水氏が幼子と出産前後の妻を勤務地の上有知町におき、1人で世話をすることは困難だったため、母やつ氏は当町北山の里に戻り出産したとのご親族の証言があります。この点については、さらに千畝氏本人が生前、幸子夫人をはじめ、長男の弘樹氏のご家族全員とともに、北山のやつ氏の実家を訪れ、当町で出生したことを確認し、その生家のことを孫たちにも、たびたび話をしてきたとの証言もあります。

5点目は、出生時の戸籍の登記についての親族の証言です。千畝氏は、戸籍上「明治33年1月1日武儀郡上有知町890番戸で出生、父杉原好水届同月7日受付入籍」と記載されていますが、千畝氏出生の連絡を受け、好水氏は勤務している上有知町に出生届を提出し、その後、実際の本籍地の当町に入籍したとのご親族の証言があります。

問 世間では、ポケモンGOがブームとなっている。調べてみると町内には、26カ所のポケストップと9カ所のジムがある。そこで、町としてポケモンGOと自然や昆虫とをタイアップして運営会社に要望し、各種イベントを行い、町おこしを進めてはどうかと考える。少ない費用で町のイメージアップにもつながると思うが町の考えを伺う。

答 (藤本産業課長) 「ポケモンGO」は、米国内の任天堂のゲーム会社によって開発された、今大人気のスマートフォン向けゲームアプリです。まず、ポケストップ、ジムなどを運営会社に要望して増やすことが出来るか確認しましたとこ



Q2 ポケモンGOについて

ポケモンGO

問 世間では、ポケモンGOがブームとなっている。調べてみると町内には、26カ所のポケストップと9カ所のジムがある。そこで、町としてポケモンGOと自然や昆虫とをタイアップして運営会社に要望し、各種イベントを行い、町おこしを進めてはどうかと考える。少ない費用で町のイメージアップにもつながると思うが町の考えを伺う。

答 (藤本産業課長) 「ポケモンGO」は、米国内の任天堂のゲーム会社によって開発された、今大人気のスマートフォン向けゲームアプリです。まず、ポケストップ、ジムなどを運営会社に要望して増やすことが出来るか確認しましたとこ